

# カンボジア平和学習 & 高床式農村ホームステイ 世界遺産アンコールワット見学



プログラム参加費

270,000円

旅行代金

178,000円  
(燃油サーチャージ別)

期間

2023年3月27日(月)  
～4月4日(火)

対象・定員

\* 出発前日が事前研修会です。  
小学校3年生～高校3年生  
10名(最少催行6名)

研修地

プノンペン・シムリアップ  
・トロピアンコ村

協力

トロピアンコ村

利用航空会社

ベトナム航空  
(ホーチミン経由)

\*プログラム参加費・旅行代金の詳細は『事業概要』をご参照下さい。

## 現地情報

- ◆気候 乾期で過ごしやすい季節ですが、日差しは強いので帽子は必需品
- ◆気温 最高気温34℃ 最低気温23℃(3・4月)
- ◆時差 日本が2時間進んでいます
- ◆通貨 カンボジアリエル
- ◆概要 様々な歴史を乗り越え力強く生きる村人や子供たちとの交流、平和学習を通して、カンボジアの過去と未来を学びます
- ◆食事 1日3食

## 特色

- ◆農村での高床式ホームステイと学校訪問&交流体験  
(ホームステイは原則1家庭2～3名)
- ◆世界遺産アンコールワット遺跡群を見学
- ◆ポルポト政権の負の遺産『キリングフィールド』や『ツールスレン』の見学と平和学習
- ◆CMAC(地雷不発弾処理政府機関)訪問と平和学習
- ◆世界最大の水上生活見学(トンレサップ湖)

## プログラム

3/26(日)	夕方	事前研修会
3/27(月)	午前	成田空港発(ホーチミン乗換)
	夕方	プノンペン空港着(ホテル泊)
3/28(火)	午前	王宮、銀寺見学
	午後	セントラルマーケット・買い物(ホテル泊)
3/29(水)	午前	キリングフィールド・ツールスレン・王宮見学
	午後	学校訪問(ホテル泊)
3/30(木)	午前	CMAC地雷不発弾処理博物館訪問
	午後	トロピアンコ村着(ホームステイ)
3/31(金)	終日	小学校訪問(ホームステイ)
	午後	ホストファミリーと過ごす日本式カレーパーティー(ホームステイ)
4/1(土)	午前	バスでシムレアップへ
	夜	民族舞踊を見ながら夕食(ホテル泊)
4/2(日)	終日	アンコールワット遺跡群見学(ホテル泊)
4/3(月)	午前	トンレサップ湖上生活者視察
	午後	日本語学校訪問&交流
	夜	シムリアップ空港発(ホーチミン乗換)
4/4(火)	朝	成田空港着、通関後解散

\*天候によりスケジュールが変更になる可能性もあります。



## 体験談

鹿児島県 高1 女子

日本にいと分からない。ついつい平和だと勘違いしてしまう。本当の貧困、本当の問題。私はなんて無知なのだろうと思知らされた。カンボジアに行って一番衝撃的だったポルポトの歴史。とても簡単に受け止められるものでも、信じられるものでもなかった。私たちは学校で世界の歴史の何を学んでいるのだろうか。ただ年号を覚えて、賞賛されるべき素晴らしい人間の進化を知り、時に悲しい歴史の名前だけをしり、テストでいい点数をとっては世界史が得意なのだと感じていた。でも、そのどこが得意で物知りなのか。ただ記憶しているだけ。得意なのは、知っているのは年号や、進化の後の人間が見つけたとてもアバウトで、容易で、なんのメッセージ性もない、出来事の名前だけ。実際にその時代の人間がどれだけの苦勞をしたのか、どんな犠牲を出したのかなんて、知らずともしなかった。だからこそ、現地ガイドの話をももして、真剣にきいて、実物に触れたこの経験は相当衝撃的で、だけど、とても大事な経験となった。ツールスレン、キリングフィールドに行ったその日は色々考えることがあって、なかなか寝付けなかった。もし私がカンボジアに来てなかったらきっと、一生知ることのない真実だっただろう。9日間の中で習ったことはまだまだたくさん数え切れないほどある。高床式での暮らしでは、日本の生活基準の高さと独特の綺麗へと意識。汚いとは、不潔とはなんだろう。日本の生活が豊かだなんて何を見て私は思っていたのだろうか。本当の暮らしの豊かさと満ち足りた気持ちが味わえた。そしてカンボジア、いや、東南アジアの眠れる力。ひとりひとりが生活の中で、自分の身は自分で守る、自然と共存する、立ち向かう勇気があり、自立していた。私たち日本人は整った環境の中で籠の中の鳥のように縛られ、守られた中で甘えていたかもしれない。不安定な世界で一生懸命生きる国民の力と、成長し続ける国の力、吸収力、学ぶ力に圧倒された。発展途上国と人々は呼ぶが、むしろ人間的な自立力、学習能力では私たちがの方が発展途上なのかもしれない。私も、東南アジアもまだまだ成長し続ける。南国の暑さと、力に背中を押された9日間だった。